



# スタジアム建設プロジェクトの軌跡

# 海外研修を実施しました！！



●ピッチ&メインスタンド



●施設全景



●観客席



●選手控室



●VIPラウンジ

- 計画名： Akhihiro Kato Stadium
- 設計・施工： FUXIN CO.,LTD.
- 発注者： ANGKOR TIGER FOOTBALL CLUB CO.,LTD.
- 施工場所： カンボジア王国シェムリアップ
- C M： 萩原建設工業株式会社
- 施工期間： 令和6年4月～令和6年11月

## CONSTRUCTION MANAGEMENT

当社は、本プロジェクトにおいてCM（CONSTRUCTION・MANAGEMENT）業務で技術支援しました。CONSTRUCTION・MANAGEMENTとは、建設プロジェクトを成功へ導くため、専門知識を持つプロジェクト・マネジャーが発注者の立場でプロジェクトを統括する手法です。企画から設計、工事、さらに維持管理までを視野に入れ、最適なプロセスを構築することで、プロジェクトの価値を最大化します。本プロジェクトでは現地の建設会社と協働すると共に、これまで培ってきた経験を活かし、企画・設計・工事の各フェーズでコスト・クオリティ・スケジュールのバランスを維持しながら、コストを最適化しつつ、高品質な施設を実現することで、地域に根付く新たなランドマークの創造に貢献しました。建物を建てるだけでなく、街の未来をかたち作る。当社初の海外プロジェクトは、そんな新しい価値を生み出す第一歩となりました。

## TIME LINE

2022 10月 建設プロジェクトの発足

2023 5月 現地調査

雄大な自然が広がる絶景のロケーションに建設するスタジアムはカンボジアの自然と歴史・文化と調和し、大地の美しさを引き立てる施設にしたいと考えました。



9月 共同記者会見

当社にて共同会見を行い、NHK HTB、十勝毎日新聞社を含めた8社の報道機関が来社。

11月 地鎮祭

現地の風習に則った地鎮祭は関係者が主体的に祈りを捧げ、参列者が順に線香を手に合掌しながら祈願し、豚の丸焼きなどの供え物を食し、和やかな雰囲気の中でプロジェクト成功への思いを共有しました。

2024 4月 着工

## 建設の軌跡

建設プロセスが確認できるタイムラプス動画はこちら！



11月 竣工 シェムリアップ待望のスタジアムが誕生！

2024年11月15日、スタジアムがグランドオープンしました。鉄骨造+鉄筋コンクリート造の3階建て、VIPルームとVIPラウンジや屋上BBQエリアも完備。照明設備の導入により、シェムリアップ初のナイトゲームが実現しました。当日は、収容人数を越える2,089名が来場。オープニングセレモニーとして、日本のスタジアムDJやカンボジアの著名歌手が会場を盛り上げた後、アンコールタイガーFCの公式戦が開催され、4対1で勝利。スタジアムはクラブの発展に合わせてバックスタンドの増設などを進め、将来的には1万5,000人規模への拡張を目指しています。



## 研修概要

2025年2月15日、当社がマッチスポンサーとなったカンボジア・プレミアリーグ公式戦「HAGIWARA マッチ」が、シェムリアップの新たなスタジアムで開催されました！！このメモリアルな試合に合わせ、当社員とその家族、社外招待者を含む18名が参加する当社初の海外研修を実施し、新たなスタジアムでの試合観戦はもちろん、異国の文化にも触れる素晴らしい機会となりました。

### Day-1

- 住宅分譲地視察
- 屋上テラスBBQ
- スタジアム見学ツアー
- 試合観戦



### Day-2

- アンコールワット遺跡群
- ナイトマーケット
- トンレサップ湖水山村&ワニ園



### Day-3&4

- 自由行動



## スタジアムでの特別体験！！



スタジアム到着後、本スタジアム建設のプロジェクトマネージャーである濱田のガイドによるスタジアム内見学ツアーを行い、通常は立ち入ることの出来ないVIPルームとVIPラウンジ、選手ロッカールームや会見場、天然芝ピッチの上を歩くなどスタジアムの裏側を知ることのできる貴重な体験となりました。試合前のオープニングセレモニーでは、萩原副社長がスタジアムDJとして観客を盛り上げました。そしてルーフトップテラスで、夕日を眺めながらBBQと試合観戦を楽しみ、ハーフタイムには観客参加型のミニゲームに当社員も現地の皆様と共に参加し会場は大盛り上がり！試合はアンコールタイガーFCが3-0で快勝し最高のひと時となりました！



## 海外研修に参加した社員の感想



本社 総務部 総務課 安部 彩香さん

当社が建設に関わったスタジアムでの試合観戦はまさに特別な体験でした。実際に使用された様子を目の当たりにし、大きな誇りと感動を覚えました。地元の皆様の熱い応援を感じ、その姿を見て、当社の取組が地域経済や観光業の活性化に貢献していることを実感しました。

本社 建築部 設計課 鈴木 琉久さん

広大な大地に完成したスタジアムの姿を見て、その大きさに圧倒されとても感動しました。ピッチと観客席の距離が近く、迫力を持たせるための工夫などサッカー観戦に適した配慮が至る所に垣間見えました。またボールライトによって夜でも明るく、快適に試合を観戦できたことも印象的でした。



札幌支店 総務部 総務課 山崎 雅史さん

世界遺産アンコールワットの大きさに圧倒され、12世紀の建造物が現代も残り続けている事実に感動。タイムスリップしたような貴重な体験でした。街を散策すると車とバイクの多さに驚きつつ、食事はどれも絶品。異国の地を訪れることで、新たな価値観や貴重な経験を得ることができました。



## TALK EVENT

### スポーツによる地域活性化！カンボジアでスタジアム建設を実現した加藤様と十勝のスポーツクラブ代表が語るスポーツと地域の未来。

シェムリアップの活気を取り戻すため、スタジアム建設に挑んだアンコールタイガーFCオーナー加藤様。その挑戦を十勝の皆さんにも知ってほしい。そんな思いから2025年3月21日にトークイベント「スポーツが動かす地域の未来～スタジアムが生み出す可能性～」を開催しました。会場の定員数を越える約50名が来場。加藤様はアジアから世界に挑む理由やスタジアム建設への想い、街づくり構想などについて講演。さらに夢や目標を実現するために必要なアクションについても語り、会場全体が話に引き込まれました。続くパネルディスカッションには北海道十勝スカイアース代表の金澤様、ソルプレーサ十勝代表の大久保様も登壇。スポーツを単なる競技としてではなく「地域とつながるビジネス」として捉え、十勝の未来にどう貢献できるか、これから必要なことは何かを議論し、三者の熱い想いがスポーツと地域の関わりを改めて考えるきっかけとなるイベントとなりました。



# 選手や関係者からメッセージを頂きました!

アンコールタイガーFC  
みやぎ こうた

宮城 晃太 監督

とても満足度の高い、素晴らしい環境のスタジアムです。アンコールタイガーFC初となるスタジアム建設に携わっていただきありがとうございます。このスタジアムで練習した選手たちが、カンボジア代表を背負い、アンコールタイガーFCの選手として大きく成長できるよう現場も頑張ります。これからも一緒に闘いましょう!



アンコールタイガーFC  
リ ソシア

20. Ly SoSea 選手

生まれ故郷のシェムリアップに最高のスタジアムを建設していただき、ありがとうございます。シェムリアップの人々がたくさんアンコールタイガーFCの試合を観戦できるようになり、大きな歓声が力になっています。このスタジアムがカンボジアのサッカーの発展にもつながっていくと思います。



アンコールタイガーFC  
やすおか たくと

39. 安岡 拓斗 選手

アンコールタイガーFCの選手たちの味方でいてくれる心強いスタジアムを作っていただきありがとうございます。建設を見届け、こけら落としとしてプレーし勝利するというサッカー選手として一生に一度とない経験ができたのも、萩原建設工業がこの素晴らしいスタジアムを建設してくださったからに他なりません。これからもスタジアムに関わる全ての方々への感謝を胸に闘っていきます!



アンコールタイガーFCサポーターリーダー  
タン サンボ

Tan Sambo さん

今までの試合は日中のとても暑い中で開催されていましたが、新たなスタジアムはナイトゲームが開催できるライトがあるので、とてもいい環境で観戦することができます。選手のパフォーマンスへの好影響もあり、今年のアンコールタイガーFCはTOP4にランクしています。近い将来にアンコールタイガーFCがNo.1になることを願いながら全力でサポートし続けます。



かとう あきひろ

アンコールタイガーFC 加藤 明拓 オーナー

スタジアム建設プロジェクトには大きな希望と共に、大きな不安もありました。不安というのはカンボジアという異国で非常に建設トラブル(納期、コスト、クオリティ)が多いと聞いていたこと、またカンボジアでスタジアム建設実績のある会社がほぼほ少ないということでした。限りある予算と短納期で失敗できないプロジェクトの中、萩原建設工業がコンストラクションマネジメントとして加わってくださったことで、私たちが実現したいことを議論しながら適切に建設要件として落とし込んで、現地建設会社と擦り合わせながら進めることができました。例えば、コスト削減シーン1つとっても現地建設会社の提案オプションが本当に妥当か、その削減で何が失われるのかわからず適切な意思決定ができない。そこにプロジェクトマネージャーの濱田さんがこちらの要件を踏まえ削減オプションごとに失われるものを整理して示していただけだったので、安心して意思決定することができました。萩原建設工業なしではスタジアムは建設できなかったですし、結果的にコストも最適化できたと思います。そして何よりも一緒に私達の未来を語りながら、プロジェクトに向き合ってくくださったことが心の底から嬉しかったです。今後、スタジアムを中心とした街づくりを進める中で、またお力をお借りすることもあると思いますので引き続きよろしくお願いたします。



## 夢と希望と勇気の象徴

コロナ禍により失業者であふれ、活気を失ったシェムリアップの光景を見て、私はスタジアム建設を決意しました。

シェムリアップ、そしてカンボジアに訪れる皆様の「機会の創出」が自然偶発的に育まれるよう、本スタジアムによって、新たな「にぎわい」を生み出し、カンボジアの誇りと文化を礎にサッカーを愛する皆様の『夢と希望と勇気の象徴』となる施設を目指します。

📷 撮影者より  
撮影：営業部 仁藤 正憲

いつもHAGIWARATIMESをご覧いただきありがとうございます。撮影担当の仁藤です。帯広から5,000km以上も離れたカンボジアで建設プロジェクトに関わるということは、会社スローガンであるまさに「挑戦」でした。直接プロジェクトに携わっていないですが、当社がCM業務で関わり、そして完成したスタジアムを自分の目で見なくては!と今回の社内研修に参加し、カンボジアの空気感が伝わる写真をたくさん撮影してきました。今後も当社の「挑戦」をHAGIWARATIMESで紹介していきますので、よろしくお願いたします。



Cambodian Premier League

# ANGKOR TIGER FC

“ AKIHIRO KATO STADIUM “

新ホームスタジアム in シェムリアップ

ホームページ / 各種SNS

お問い合わせ (パートナー提携/研修等)



カンボジア特集号 / HAGIWARA TIMES  
萩原建設工業株式会社

バックナンバーは当社HPよりご覧ください。  
〒080-0807  
北海道帯広市東7条南8丁目2

<http://www.hagiwara-inc.co.jp/>  
TEL.0155-24-3030

